



いのち平等、福祉充実の都政を

浦野 さとみ

区議会議員(2期6年)
作業療法士(元中野共立病院勤務)



浦野さとみ公式サイト
<http://urano-satomi.jp>
urano_satomi
urano.satomi

650

生活相談

件

あなたの思いを、 がちりキャッチ!



私の決意

私は、中野共立病院で8年間、患者さんのリハビリをおこなう作業療法士として働く中で、「お金のあるなしで命と健康に格差をもたらす社会をかえなければ」と思いを強くし、政治の世界にとびこみました。

区議となって6年。「持病が悪化し、仕事が困難となり、収入がほぼゼロ。明日からの生活をどうしたらいいか」「必要な介護サービスが受けられずに、家族の負担が重く限界に…」などの相談が増えています。生活相談は650件をこえました。安心して暮らしたいという願いは切実です。

政治の仕事はその願いに応えることではないでしょうか。いのち平等、福祉充実の都政へ全力をつくします。

あなたと一緒に都政を変える。 浦野さとみ



自己紹介

1980年 千葉県松戸生まれ(36歳)
中学・高校とソフトボール部
2003年 千葉医療福祉専門学校
中野共立病院 リハビリ室入職
2008年 リハビリ室主任
2011年 中野区議会議員選挙 初当選
2015年 中野区議会議員選挙 2期目当選
中野区議会 厚生委員会委員長など歴任

モットー

「自分で決めた事は最後までやる」

趣味

旅(沖縄県離島・竹富島)
“ゆず”のライブへ行くこと
ソフトボール
スポーツ観戦



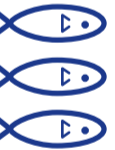
都議会議員 榎本こうじ

都政の歪みただし、命をまもる議席です。
わたしの跡継ぎをなんとも都政へ。
5期20年、みなさんに支えられ、都民のための都政づくりに全力をつくすことができました。このたび最高の跡継ぎとして浦野さとみさんにバトンタッチすることになりました。いのち平等・福祉充実の都政を実現するため私も全力でがんばります。

中野の広場 日本共産党中野地区委員会以上の見解を発表しました。
2017年5・6月号外 中野区野方1-17-4 / 中野の広場社

「日本共産党中野区委員会」まで ☎03-3380-8111

「豊洲問題」こう考えます
詳しくは裏面をらんください



身体と心の痛みを いっしょに乗り越えよう

作業療法士 野中 年 6

相談相手

たよれる

浦野さんは、区議6年間で生活相談は650件。生活再建やマシヨソ紛争、道路の舗装、立ち退き問題、桜並木を守ってほしいなどさまざまな悩みを抱えています。熱中症で倒れた高齢女性が相次いでいます。熱中症で倒れた高齢女性からの電話に即対応、命を救ったことも。寄せられる区民の声は活動の原動力。区民の相談をがっちりキャッチし解決につなげる頼もしい存在です。

大塚賢二さん (タクシー運転手)

私は脳梗塞で倒れ、片手が麻痺になりました。4か月間、復職にむけて浦野さんのリハビリにお世話になり、無事、仕事に復帰できました。私を助け、生活と身体、両方をみてくれた浦野さん。頼りにしています。

人によりそえる

痛みがわかるから

闘病から医療の道へ 闘病から医療の道へ

思春期に原因不明の脱毛症

浦野さんは、高校の時に原因不明の脱毛症になったことに大きなショックを受けました。しかし、この経験がキッカケとなり、人の役に立つ仕事をしたいと、リハビリの道へと進みました。リハビリは病状回復とともに生活をまもることを受け止め、患者に寄り添う仕事です。「この経験は、議員になった今も生きています。」

小林康夫さん (元中野共立病院 リハビリ室長)

だれにでも気遣いのできる人だったので、入社して1年ほどで、リハビリ室の中心の役割を担うようになっていました。

浦野さんの人間的な魅力は、議員になった今も変わっていません。昔と変わらず人によりそいつける、浦野さんの今後の活躍を期待しています!

結びつき

決してあきらめない

敗者復活で県大会へ 敗者復活で県大会へ

ソフトボール部 代

浦野さんは、中学・高校の6年間は、ソフトボール部の活動に打ち込みました。中学2年の時には敗者復活戦を勝ち抜き、県大会に出場。ソフトボールを通じて「みんなが目標に向かえば必ず達成できる」という姿勢を仲間から学びました。

近藤めぐみさん (千葉県松戸市立第二中学校 元ソフトボール部副キャプテン)

“うちちゃん”は、クラブの部長であり学級委員でした。ソフトボール部は新設して間もなく、練習場所すらままならない状態でしたが、私たち部員を引っ張り続けてくれました。いつも人を思い、人の話に耳を傾け、人一倍頑張っている“うちちゃん”を区民の方々は見ていると思います。

今まで通り頑張りたい! 応援しています!

日本共産党

浦野さとみが挑む

都政の改革



innovate
1

築地市場は現地再整備

豊洲への移転は中止



日本共産党は一貫して豊洲の闇を追及してきました。

豊洲予定地から発がん性物質のベンゼンが基準の100倍の濃度で検出され、とても危険な状態であることが判明しました。「汚染土壌の完全除去」「盛土で遮断」という約束も果たされていません。

さらに、日本共産党の国会追及で、政府・農水省ですら“汚染土壌の上に市場をつくることは想定していない”ことが明らかになりました。

豊洲への移転は中止し、築地での現地再整備へ力をつくします。

9条改憲ゆるさない

安倍政権は9条改憲を2020年までに行うと表明しました。海外で無制限に武力行使を可能にする危険な動きです。

憲法を守り活かす政治実現へ都政でもブレずに貫きます。

ブレずにつらぬくたしかな力

innovate
2

大型開発優先から

いのち・くらしを守る都政へ

東京都の民生費は、いまや全国35位。老人福祉費は全国43位。

お金のあなで、医療を受ける権利が侵されているのでしょうか。都民のいのちと暮らしむきに深刻な影響をあたえています。

患者さんに寄り添い、胸を痛めてきた浦野さんこそ都政に必要です。

1m1億円の外環道をはじめ大型開発優先の都政を、都民のくらし第一の都政へ切り替えます。



“痛み”がわかるエキスパート

innovate
3

自民・公明による都政の闇と対決

都民の声がいきる都政へ

遅れていた特養ホームや、区が後ろ向きだった認可保育園の増設に道を開きました。現場に足を運んでの聞き取りや、徹底した調査・分析は定評があります。現場の声をふまえた議会論戦は他党派議員や区理事者からも一目置かれています。

区民要求実現の先頭に立ってきた浦野さんは、自民・公明がつくってきた都政の闇をただすために、なくてはならない存在です。



ためされずみの区議経験即戦力

巨大開発で福祉をつぶす自民・公明はNO! 切実なくらしの願いこそって日本共産党の浦野さとみへ



浦野さとみ 区議**6**年

みなさんと力あわせて**実現してきました**

- ◆認可保育園等による定員増 (中野区で1552人)
- ◆特養ホーム増設 (3か所)
- ◆福祉タクシー券に加えて、自家用車のガソリン代助成導入
- ◆子どもの貧困問題に取り組む
- ◆平和の森公園再整備に反対

都政の舞台上で

さらにがんばります

- 小児救急医療体制の充実
- 全都で認可保育園9万人分増設
- 特養ホームを全都で2万人分増設
- 西武新宿線立体交差化の地下化
- 木造密集地域の防災対策強化
- 3千円のシルバーパス実現を